

受注者が 入札時又は工事中に
生産性向上技術に関する技術提案を行う

↓
施工

発注者は 履行による効果が確認された場合
請負工事成績評定要領に基づき評価する

生産性向上技術を採用した場合

準備・後片づけ関係、施工関係、品質関係、安全衛生関係において生
産性向上技術を活用して効果があった場合

さらに、当該技術がNETIS登録技術である場合は、追加で加点

↓
最大2.8点の加点

活用実績のある
技術の導入促進

HPで紹介
生産性向上技術
リストの活用



工事1

工事2

工事3

工事4

他の工事受注者

工事中に技術提案を行う場合

工事書類「創意工夫・社会性等に関する実施状況」
を提出。

様式-51

創意工夫・社会性等に関する実施状況

工 事 名	〇〇庁舎改修工事	
受注者名	株式会社〇〇建設	
項 目	評価内容	実施内容
■創意工夫 自立案実施した 創意工夫や技術力	■施工	〇〇システムの採用
	□新技術活用	
	□品質	
	□安全衛生	
□社会性等 地域社会や住民 に対する貢献	□地域への貢献	

生産性向上技術とは
プレハブ化、ユニット化、自動化施工（ICT施工、
ロボット活用等）、BIM、ASP等を活用したもので
施工の合理化に資するもの